

- 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文件数
- 21世紀COEプログラムの採択状況
- 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況【基本的な基礎データ】
- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】
- 特定プロジェクト研究センター制度の活用状況【基本的な基礎データ】
- 国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎**効果が上がっている事項** ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎**改善すべき事項** ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

○教育研究組織について定期的に検証が行われていることは評価されます。

【学内委員】

○教育研究組織の適切性について、学部懇談会で定期的に検証を行っているのは、評価できます。

○教育研究組織の実効性の検証については、組織が幅広いカリキュラムに対応する形で編成されていたり、カリキュラムの内容が定期的に検証されている点は評価できます。また、研究成果の社会への還元も、学部研究会やシンポジウムなどで定期的かつ積極的に行われ、この点も評価できます。進捗評価はBなので、さらなる積極的な取り組みを期待します。

○昨年度の次のコメントは本年度もそのままコメントとします。

・各領域担当者会議を組織しているのはよいと思います。このような組織の適切性について定期的に検証を行っているかどうか求められており、議論が行われているようであれば評価できます。

・教育研究組織の実効性の検証および改善については、開講科目や履修状況などのチェックを定期的に行っており、その点は評価できます。また、学術研究会や講演会なども積極的に行われており、この点も評価できます。ただ、現状に満足せず、今後もさらなる改善に取り組むことが望まれます。

【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

○小項目4.0.1

基盤評価：なし

達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

○小項目4.0.2

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

なし

☆